



機能向上でより使いやすいリフォーム用キッチン/バスルーム「Refoms(リフォーム)」製品リニューアル

【リフォームシステムキッチン】



【リフォームシステムバス】



パナソニック(株)エコソリューションズ社は、2013年に発売した「Refoms(リフォーム)システムキッチン・システムバスルーム」に使いやすさを向上させる新機能を搭載し、2015年6月1日から受注を開始します。キッチンやバスルームのリフォーム需要は、その取り換え時期やライフスタイルの転換期とも重なる築20年程度の住宅にお住まいの60歳前後の世代で多くなっています。発売するリフォームの新製品は、こうしたリフォーム世代の「もっとこうしたい」というニーズに着目、またシステムキッチンでは、機能的で開放的なリビングダイニング空間を実現した「ローステップ対面プラン」、衛生面での困り事をお応えする「まな板キレイ乾燥機」を新発売し、リフォーム世代のニーズに対応します。また、リフォーム時にピッタリ収まる「間口調整ユニット」で建築躯体への適応性を高めます。システムバスでは、今の生活はもちろん将来を見据えたバスルームを提案。「とことんあたたかく」「みんなが使いやすい」お風呂を目指し、素早く浴室を暖め、カビも抑制する「カビシャット暖房換気乾燥機」や、浴室内の一連の動作をサポートし、使いやすい収納を実現する「おきらく手すり」を品揃えしました。

情報提供: パナソニック

省エネ適合義務化を住宅は見送り 政府、市場低迷に配慮

政府は24日の閣議で、新しい建築物に省エネルギー基準への適合を義務づける建築物省エネ法を決めた。オフィスビルや商業施設の建築計画が基準値を下回ると2017年度から着工が認められなくなる。新築住宅は義務化を急ぐと低迷する住宅市場に悪影響が出るため当面見送る。まずは延べ床面積が2000平方メートル以上の大規模施設を対象とする。用途別に決められたエネルギー消費量に床面積を掛け合わせてはじき出した基準値をもとに、建築主が提出した計画を照らし合わせて判定。基準に届かなければ着工できなくなる。300平方メートル以上の中規模施設は自治体が計画の変更を指示・命令できる。工場や自動車からの二酸化炭素(CO2)排出量は1990年度から減っているが、オフィスビルや住宅からの排出量は同じ期間に約34%増えた。建築主への努力義務にとどまる既存の省エネ法では実効性が乏しくなっており、建築物に的を絞った新法で段階的にCO2の排出抑制を図る。

情報提供: 日本経済新聞

ニチハ、30年の超高耐候外装材「フュージェ」に新柄



ニチハは2015年春の新商品として、超高耐候を実現した次世代型の外装材「Fu-ge(フュージェ)」に6柄28品番を追加。これで11柄55品番のラインアップとなった。フュージェは、独自のドライジョイント工法により、継ぎ目が目立たないスッキリした仕上がりとなり、高耐候塗料によりロングメンテナンス化を実現。30年間にわたり再塗装やシーリングの打ち替えが不要になるため、同社試算によると一般的な壁材に比べライフサイクルコストが約160万円もお得になる。

情報提供: 新建ハウジング

タカヤマ金属が白アリ保証を拡充、金額・回数が無制限に

タカヤマ金属の、長期安心保証「白アリ保証」の内容が新しくなります!

キャットスパーサー・タカヤマ製鋼製束をご使用したお家様には!

10年間 保証金額 回数 無制限

中点点検 5年点検が不要になりました。

住まいの安全・安心を考えた築造づくりに取り組んでいます。

安全・安心を足もとから

タカヤマ金属工業株式会社

06-6757-9251

www.takayama-ik.co.jp/work

ken@tko-kamaman.com

タカヤマ金属工業はこのほど、同社の基礎パッキンと鋼製束を使った住宅に蟻害が発見された場合に補修費用などを補償する「白アリ保証」をリニューアルした。従来の補償金額は最高500万円だったが、これが無制限になった。新制度は、基礎パッキン「キャットスパーサー」「フリーロングキャットスパーサー」、タカヤマ製鋼製束を使って建築した住宅について、10年間、金額・回数無制限で補償するもの。また、従来は5年目の中間点検を義務付けてきたが、これが不要になった。ただし、施工後6年以内に基礎周りの点検を実施することが条件。4月1日以降の施工物件から対象となる。

情報提供: 新建ハウジング